

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会で用いられている AI 等のテクノロジーが持つ機能や役割、実例などの基礎的な情報を自分の言葉で説明することができる ・簡単なプログラムを使って実際に AI を動かすことができる <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的課題について調べ、AI 等のテクノロジー活用した解決方法を提案することができる ・AI が人々、社会にとって正しく活用されるための倫理的判断をすることができる ・テクノロジーが人間個人、社会に与える影響を考察することが出来る ・上記事項について、他者に適切に提示/説明することができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI や新たな技術開発、イノベーションについてより深く知ろうとし、それをういて解決しようとする姿勢を持つことが出来る ・社会的課題に向き合う中で、AI などに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、人間の本来の生き方について追求することができる 	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①実際に AI を社会で活用する人を通じて、社会で用いられている実践的な AI 活用に関わる知識を獲得することができる ②社会課題解決のために、2 年で AI を動かした経験と、社会課題に関わる客観的なデータを基に AI を活用した具体的な提案をすることが出来る <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AI を活用した社会課題の解決案について、議論などを通じて他者と協働して創造することができる ②AI を活用した社会課題の解決案について、倫理的な判断を加味することができる ③AI を活用した社会課題の解決案について、他者に分かりやすく提示し、他者の考え方や生き方に影響を与えることができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AI や新たな技術開発、イノベーションについて、自発的に調べ知識を追い求めることができる ②社会課題に向き合う中で、AI などに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、自分の生き方について追求することができる 	

授業日	10/17(火)	2 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・ 前回の中間発表で受けたフィードバックを整理し、改善策につなげることができる		
時間 授業内容	プレゼン練習・録画 → 巳波先生に送信（巳波先生のFB） ★1: 今日 10/17(火) の課題の提示 A) 中間発表を整理をしよう ①中間発表で得た巳波先生、田中先生からのフィードバック ②中間発表を通じて感じた自分たちの課題 B) 改善案を提示しよう ①②をどう改善・解決するか、書き出そう C) 再度スライド、ポスター、原稿の見直し ★2: 10/17、10/24、11/14 の課題 A) 巳波先生とのやりとり ・ 中間発表を改善した発表を動画に撮る ・ Classi にアップ：動画、改善点の解説、巳波先生への質問 ・ 巳波先生からフィードバックをもらう B) 質疑応答の準備 ・ 発表後に予想される質問をリストアップし、それに対する応答を書き出す		
評価方法	★1 評価観点：課題と改善案のつながり・具体性		
宿題指示	特になし		